

# アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和4年8月26日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

## 1 調査結果の概要

- 産卵に伴い、貝の状態が悪化しており、栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量が、南部海域で健康度の指標となる3.0%を下回る値となった。
- 真珠層の褐変個体の出現率は前月に比較して低下し、貝柱の赤変個体は引き続き確認されなかった。
- 水温は、平年並みに推移している。
- 今後年間で最も高水温になる時期を迎え、海況の変化が貝の状態に大きく影響する可能性があるため、引き続き貝の管理には十分注意してください。

## 2 調査結果一覧

( ) 内は昨年同月の値

漁場 <sup>*1</sup>	貝の種類 (R3産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝 <sup>*2</sup>	5.2(1.0)	-0.5(1.5)	0	5%
中部①	日中交雑貝	4.9(0.6)	-0.1(1.6)	0	10%
中部②	日中交雑貝	4.3(0.9)	-0.2(0.9)	0	0%
南部	日本貝	2.4(0.7)	1.2(0.1)	0	10%
南部	日中交雑貝	2.4(0.8)	0.6(0.1)	0	0%
平均値		3.8(0.8)	0.2(0.8)		

\*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

\*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

## 3 調査方法

- 4月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日2日前をめどに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)。

## 4 調査項目および判断指標

- グリコーゲン含量(%): アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- a 値: 閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。  
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。